

Guidbook

徳島大学

2024-2025

生物資源産業学部

大学院創成科学研究科

生物資源学専攻

Faculty of Bioscience and Bioindustry,
Tokushima University

Division of Bioresource Science,

Graduate School of Sciences and Technology for Innovation



CONTENTS

学部長あいさつ	2
Message from the Dean	

学部等概要 Overview

沿革	3
History	
現役付職員等	5
Executive Staffs	
職員数	6
Number of Staffs	
学生数	6
Number of Students	
国際交流	7
International Exchange	
学位	7
Degree	
取得できる資格・受験資格	7
Licenses	
卒業生の進路	8
After Graduation	
キャンパス・附属施設紹介	9
Campus and Affiliated Institutes	

教員紹介	11
Teachers	

学部紹介 Introduction of Faculty

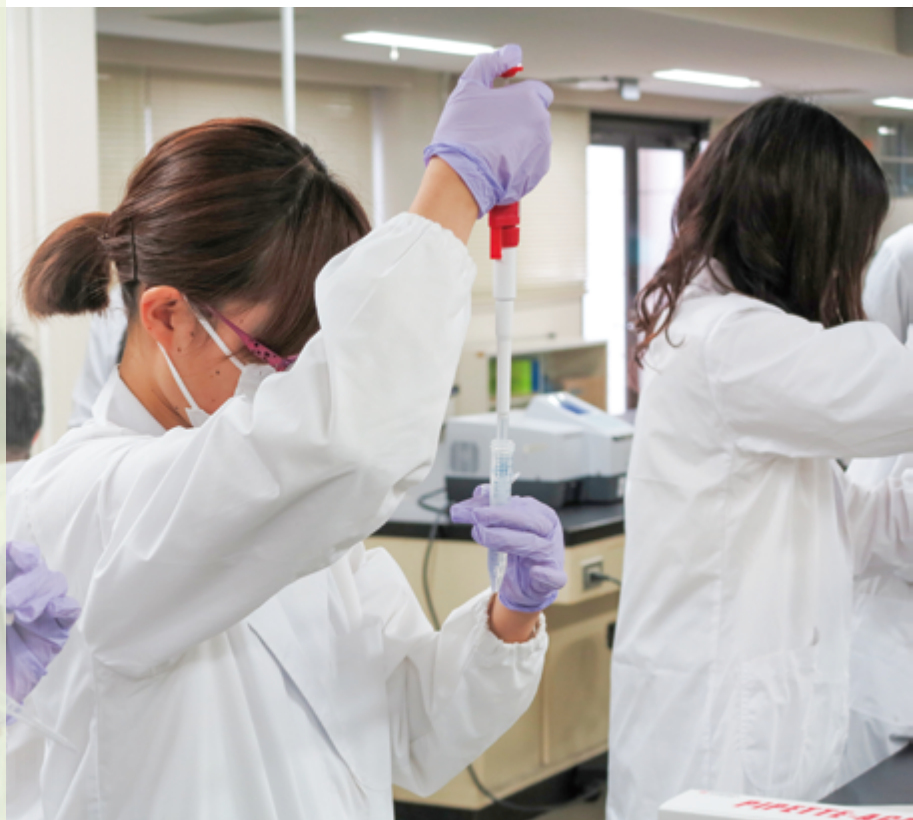
アドミッション・ポリシー	13
Admission Policy	
カリキュラムの特長	14
Curriculum	
学部各コース紹介	15
Course	

大学院紹介 Introduction of Graduate School

アドミッション・ポリシー	17
Admission Policy	
カリキュラムの特長	18
Curriculum	
大学院各コース紹介	19
Course	

在学生からのメッセージ	20
Message from Current Students	

アクセス	21
Access	





生物資源を利用する 知恵を磨いて

生物資源産業学部は平成28年4月に設立され、令和6年4月に9年目を迎えました。また、令和2年度には大学院創成科学研究科生物資源学専攻（博士前期課程）が、令和4年度には同研究科創成科学専攻（博士後期課程）が設置され、学部から大学院までの一貫した教育・研究課程が整いました。

本学部設立の経緯に立ち帰ると、農林水産業（1次産業）を基幹産業とする徳島県において農学系の教育・研究組織がないことから、徳島県や県内経済団体等から地域に根差した農学系新学部設置の強い要望をいただいたことが、一つの契機となっています。そのため、本学部は「1次産業、食料、生命科学に関する幅広い知識と、生物資源の製品化、産業化に応用できる知識と技術を有し、国際的視野に立って、生物資源を活用した新たな産業の創出に貢献できる人材を育成する」ことを基本理念に掲げ、地域に貢献できる農林水産分野の人材を育成しています。

本学部は「応用生命コース」「食料科学コース」「生物生産システムコース」の3つのコースから成り、それぞれが理念の一端を担っています。学部発足以来、徳島県との交流人事や定年退職、新規採用など多くの人事異動を経て、互いの理念の捉え方に多様性を認めつつも、学部一丸となった基本理念の実践と「徳島大学 VISION」の実現を目指し、日々研鑽を重ねているところです。

本学部の教育及び研究は、徳島市の常三島キャンパスに加えて、石井キャンパス（農畜昆虫系分野）、鳴門キャンパス（水産系分野）、新野キャンパス（林産系分野）で幅広く展開されている点が特長です。学部設置時に徳島県をはじめ産官学関係機関とのアグリサイエンスゾーン、フォレストサイエンスゾーン、マリンサイエンスゾーン連携協定を締結し、地域に資する研究・産業の発展を図るとともに、高大連携事業、技術指導等にも注力してきました。

21世紀の人類は、地球温暖化に起因する災害、マイクロプラスチック汚染、新たな感染症、人口減少、食料不足等多数の問題に直面しています。本学部で学ぶ皆さんや私達教職員は、生物資源に関わる最先端のヘルスサイエンス、フードサイエンス、アグロサイエンスをこれら諸問題の解決にどのように活用するのか考え、正しい判断ができるよう、人としての知恵を磨かなければなりません。

本学部で心身ともに充実した学生生活が送れるよう、教職員は皆さんに寄り添い支援いたします。将来自ら信じる道で夢を達成し、問題を解決しようとする意欲を持った皆さんと共に過ごすことを、教職員一同楽しみにしております。

徳島大学生物資源産業学部長

服部 武文

沿革 History

生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry

大学院創成科学研究科生物資源学専攻

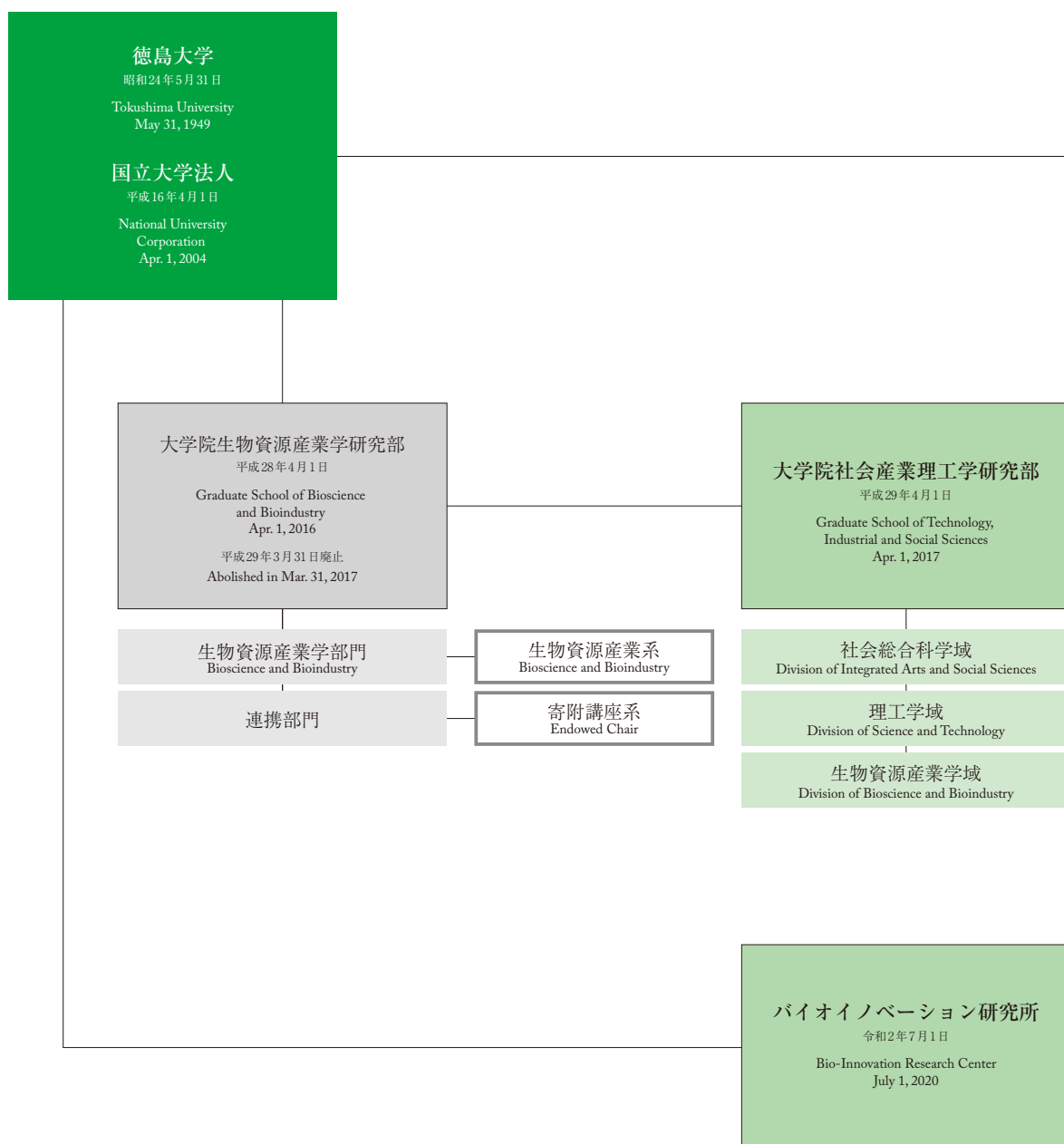
Division of Bioresource Science, Graduate School of Sciences and Technology for Innovation

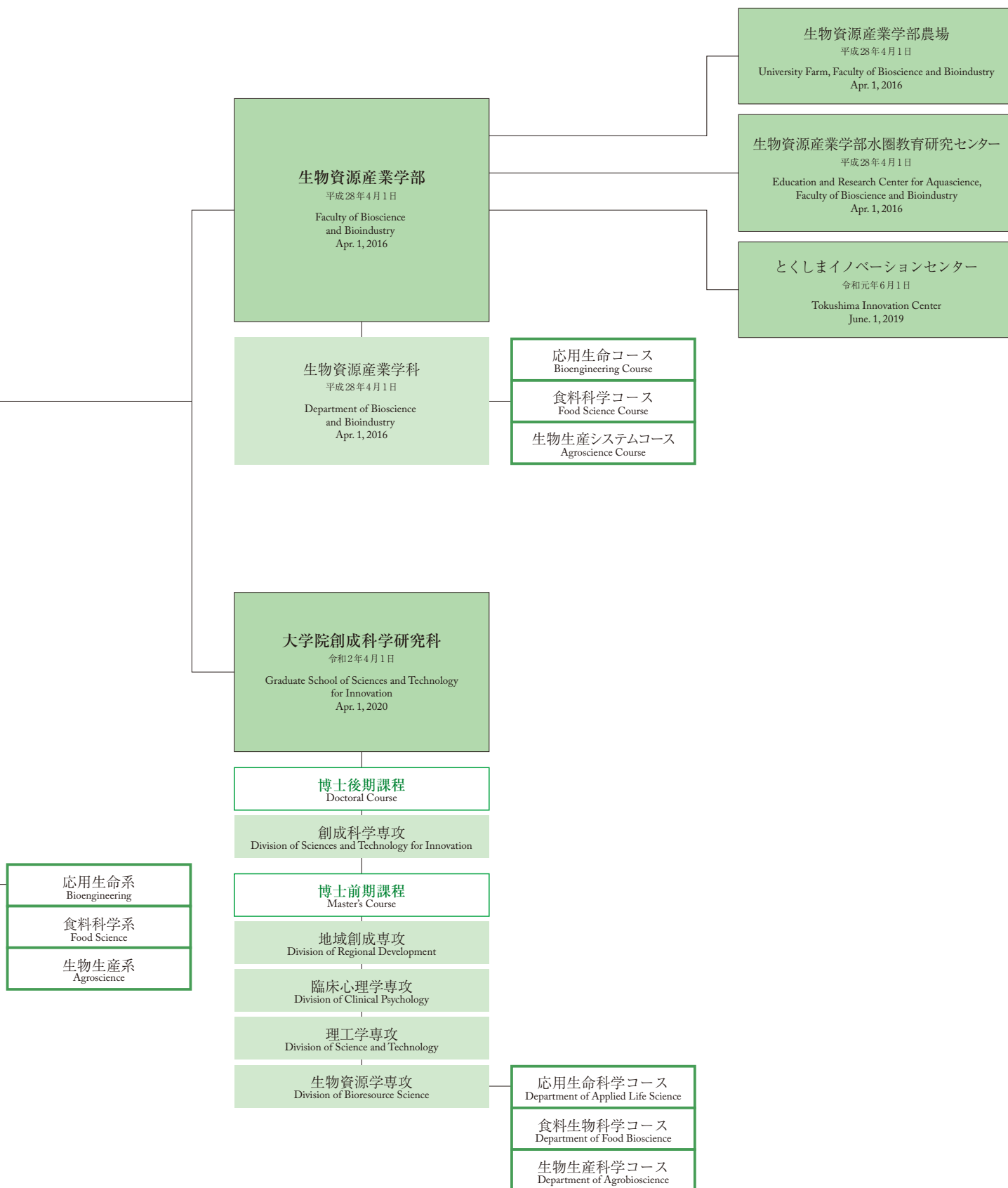
大学院社会産業理工学研究部生物資源産業学域

Division of Bioscience and Bioindustry, Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences

バイオイノベーション研究所

Bio-Innovation Research Center





現役付職員等 Executive Staffs

生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry

学部長
Dean服部 武文
HATTORI Takefumi副学部長
Vice Dean櫻谷 英治
SAKURADANI Eiji各コース長
Chairman of course応用生命コース
Bioengineering Course浅田 元子
ASADA Chikako食料科学コース
Food Science Course田井 章博
TAI Akihiro生物生産システムコース
Agroscience Course中澤 慶久
NAKAZAWA Yoshihisa

大学院創成科学研究科

Graduate School of Sciences and Technology for Innovation

● 生物資源学専攻 Division of Bioresource Science

専攻長
Dean服部 武文
HATTORI Takefumi副専攻長
Vice Dean櫻谷 英治
SAKURADANI Eiji各コース長
Chairman of course応用生命科学コース
Department of Applied Life Science浅田 元子
ASADA Chikako食料生物科学コース
Department of Food Bioscience田井 章博
TAI Akihiro生物生産科学コース
Department of Agrobioscience中澤 慶久
NAKAZAWA Yoshihisa

大学院社会産業理工学研究部

Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences

● 生物資源産業学域 Division of Bioscience and Bioindustry

学域長
Dean服部 武文
HATTORI Takefumi副学域長
Vice Dean櫻谷 英治
SAKURADANI Eiji

常三島事務部

Josanjima General Affairs Division

事務部長
Director泉 朗
IZUMI Akira

■ 生物資源産業学部事務課 Administrative Affairs Division of Faculty of Bioscience and Bioindustry

事務課長
Head of Administrative Affairs Division青木 正弘
AOKI Masahiro■ 総務係長
Chief of General Affairs Section西本 紘子
NISHIMOTO Hiroko■ 学務係長
Chief of Student Affairs Section竹重 和也
TAKESHIGE Kazuya

職員数 Number of Staffs

(1) 教員 Teachers

大学院社会産業理工学研究部生物資源産業学域
Division of Bioscience and Bioindustry, Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences

(令和6年5月1日現在)
As of May 1, 2024

※特任教員含む

系 Department	分野 Field	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors
応用生命系 Bioengineering	応用生命科学分野 Field of Applied Bioscience	5	6	1	1
食料科学系 Food Science	食料科学分野 Food Science and Technology	4	4	3	1
生物生産系 Agroscience	生物資源生産科学分野 Bioresource Science and Economics	3	4	3	2

バイオイノベーション研究所
Bio-Innovation Research Center

(令和6年5月1日現在)
As of May 1, 2024

※生物資源産業学部に併任された教員数のみ

部門	分野 Field	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors
産業生物系部門	食肉生産分野		1		
	昆虫生産分野	1		1	
	藻類生産分野		1		
地域生産系部門	農業分野		1		
先端医療技術開発部門	動物資源研究分野	1			

研究支援・産官学連携センター
Center for Research Administration & Collaboration

(令和6年5月1日現在)
As of May 1, 2024

※生物資源産業学部に併任された教員数のみ

部門等	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors
共同研究講座	1			

(2) 事務職員 Administrative Staff

(令和6年5月1日現在)
As of May 1, 2024

区分 Classification	事務職員 Administrative Staff
常三島事務部生物資源産業学部事務課 Administrative Affairs Division of Faculty of Bioscience and Bioindustry	11

学生数 Number of Students

生物資源産業学部
Faculty of Bioscience and Bioindustry

(令和6年5月1日現在)
As of May 1, 2024

学科名 Department	入学定員 Admission Capacity	収容定員 Enrollment Capacity	現員 Present					内訳 Details	
			1 年次 1st year	2 年次 2nd year	3 年次 3rd year	4 年次 4th year	計 Total	男 Male	女 Female
生物資源産業学科 Department of Bioscience and Bioindustry	100 (2)	400 (6)	111	108	110 (3)	100 (3)	429 (6)	177 (4)	252 (2)

注) () 内は編入学生を外数で示す。
() denotes number of the transfer students.

大学院創成科学研究科生物資源学専攻

(令和6年5月1日現在)
As of May 1, 2024

Division of Bioresource Science, Graduate School of Sciences and Technology for Innovation

専攻名 Division	入学定員 Admission Capacity	収容定員 Enrollment Capacity	現員 Present			内訳 Details	
			1 年次 1st year	2 年次 2nd year	計 Total	男 Male	女 Female
生物資源学専攻 (博士前期課程) Division of Bioresource Science (Master's Course)	39	78	38	52	90	43	47

学部等概要
現役付職員等
職員数
学生数

国際交流 International Exchange

(1) 学術交流協定校

International Academic Exchange Agreements

(令和6年5月1日現在)

As of May 1, 2024

地域 Region	相手大学 Affiliated University	国 Country	区分 Level	締結年月日 Date Concluded
アジア Asia	ベトナム国立農業大学 Vietnam National University of Agriculture	ベトナム Vietnam	大学間協定 Inter-University	H28.10.30 Oct. 30, 2016
	ダナン大学 The University of Da Nang	ベトナム Vietnam	大学間協定 Inter-University	H29.3.20 Mar. 20, 2017
	東國大学校 Dongguk University	韓国 Korea	大学間協定 Inter-University	H31.4.8 Apr. 8, 2019
	キングモンクット工科大学トンブリ校 King Mongkut's University of Technology Thonburi	タイ Kingdom of Thailand	大学間協定 Inter-University	R3.10.20 Oct. 20, 2021
	マレーシア国民大学 Universiti Kebangsaan Malaysia	マレーシア Malaysia	大学間協定 Inter-University	R4.3.3 Apr. 3, 2022
	ラジシャヒ大学 University of Rajshahi	バングラデシュ Bangladesh	大学間協定 Inter-University	R6.3.14 Mar. 14, 2024
南アメリカ South America	パラナ連邦工科大学 Federal University of Technology-Parana	ブラジル Brazil	大学間協定 Inter-University	H29.8.16 Aug. 16, 2017
ヨーロッパ Europe	ミラノ大学 University of Milan	イタリア Italy	大学間協定 Inter-University	H29.11.15 Nov. 15, 2017
	レイリア工科大学 Polytechnic of Leiria	ポルトガル Portugal	大学間協定 Inter-University	R3.7.2 Jul. 2, 2021

(2) 外国人留学生

International Students

(令和6年5月1日現在)

As of May 1, 2024

地域 Region	国 Country	学部学生 Undergraduate	大学院生 Graduate	研究生等 Research Student	計 Total
アジア Asia	中国 China	—	1	—	1
	韓国 Korea	2	—	—	2
	ベトナム Vietnam	1	1	—	2
計 Total		3	2	—	5

学位 Degree

生物資源産業学部
Faculty of Bioscience and Bioindustry大学院創成科学研究科生物資源学専攻
Division of Bioresource Science, Graduate School of Sciences and Technology for Innovation学士（生物資源産業学）
Bachelor of Bioscience and Bioindustry修士（生物資源学）
Master of Bioresource Science

取得できる資格・受験資格 Licenses

資格の名称	国家資格	民間資格	備考
食品衛生管理者・食品衛生監視員	○		資格取得が可能
甲種危険物取扱者	○		受験資格の取得が可能
上級バイオ技術者		○	受験資格の取得が可能

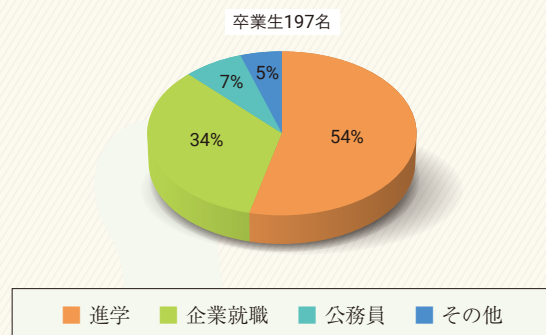
卒業生の進路 After Graduation

学部生

生物資源産業学部生物資源産業学科（令和4年度～令和5年度）

※「その他」に非公開者を含む

※「公務員」に「国立大学法人」を含む



主な就職先

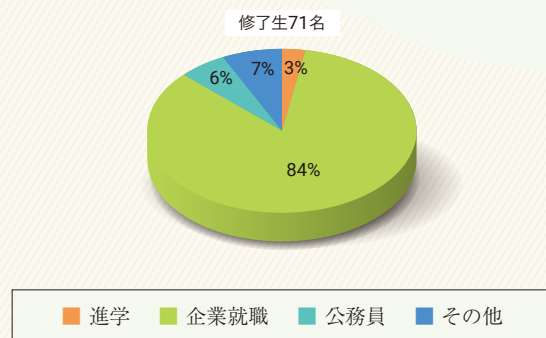
徳島大学	久光製薬（株）
水産庁	長生堂製薬（株）
財務省 神戸税関	Meiji Seika ファルマ（株）
徳島県庁	（株）大塚製薬工場
岡山県庁	カゴメ（株）
農林中央金庫	丸大食品（株）
全国農業協同組合連合会	ユニ・チャーム（株）
徳島県本部	日本ハム食品（株）
日亜化学工業（株）	日本食研ホールディングス（株）
大阪ガス（株）	森六ケミカルズ（株）
大塚製薬（株）	

大学院生

創成科学研究科の前身である大学院先端技術科学教育部生命テクノサイエンスコースの統計を掲載しています。

大学院創成科学研究科生物資源学専攻（令和4年度～令和5年度）

※「その他」に非公開者を含む

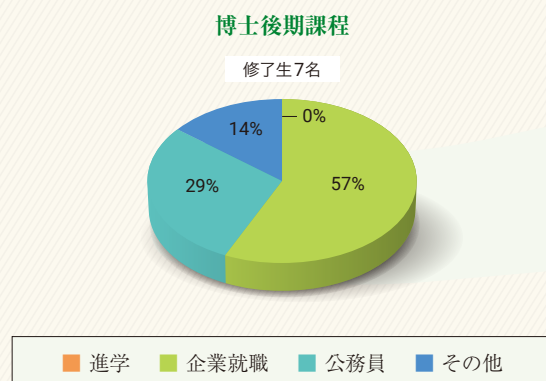


主な就職先

厚生労働省	（株）LSIメディエンス
徳島県庁	第一三共バイオテック（株）
（一財）阪大微生物病研究会	大塚食品（株）
ダイキン工業（株）	日本農産工業（株）
四国化成ホールディングス（株）	サッポロビール（株）
大鵬薬品工業（株）	日本たばこ産業（株）
富士レリオ（株）	カルビー（株）
日本新薬（株）	伊藤ハム（株）
奥野製薬工業（株）	松谷化学工業（株）
テルモ（株）	（株）Mizkan J plus Holdings

大学院先端技術科学教育部生命テクノサイエンスコース（令和4年度～令和5年度）

※「公務員」に「国立大学法人」を含む



主な就職先

徳島大学	
Universitas Muhammadiyah Yogyakarta（インドネシア）	
島根県農業共済組合	
大鵬薬品工業（株）	
アストラゼネカ（株）	
（株）グリラス	

学部等概要

国際交流

学位

取得できる資格・受験資格

卒業生の進路

キャンパス・附属施設紹介 Campus and Affiliated Institutes

常三島地区 Josanjima Campus

徳島市南常三島町2丁目1番地
2-1 Minamijosanjima-cho, Tokushima

生物資源産業学部のメインキャンパスです。総合科学部や理工学部の他、教養教育院や附属図書館等の多くの附属施設があり、入学後は、多くの時間をこのキャンパスで過ごします。

マップ上にグリーンで示した建物が、生物資源産業学部の教員研究室や実験室等がある建物です。

生物資源産業学部事務課の事務室は、建設棟2階にあります。授業の取り方や各種手続きで困ったことがあれば、お気軽にお越しください。



総合科学部1号館

Building No.1,
Faculty of Integrated Arts and Sciences



ベンチャービジネス育成研究室

Venture Business Development
Laboratory

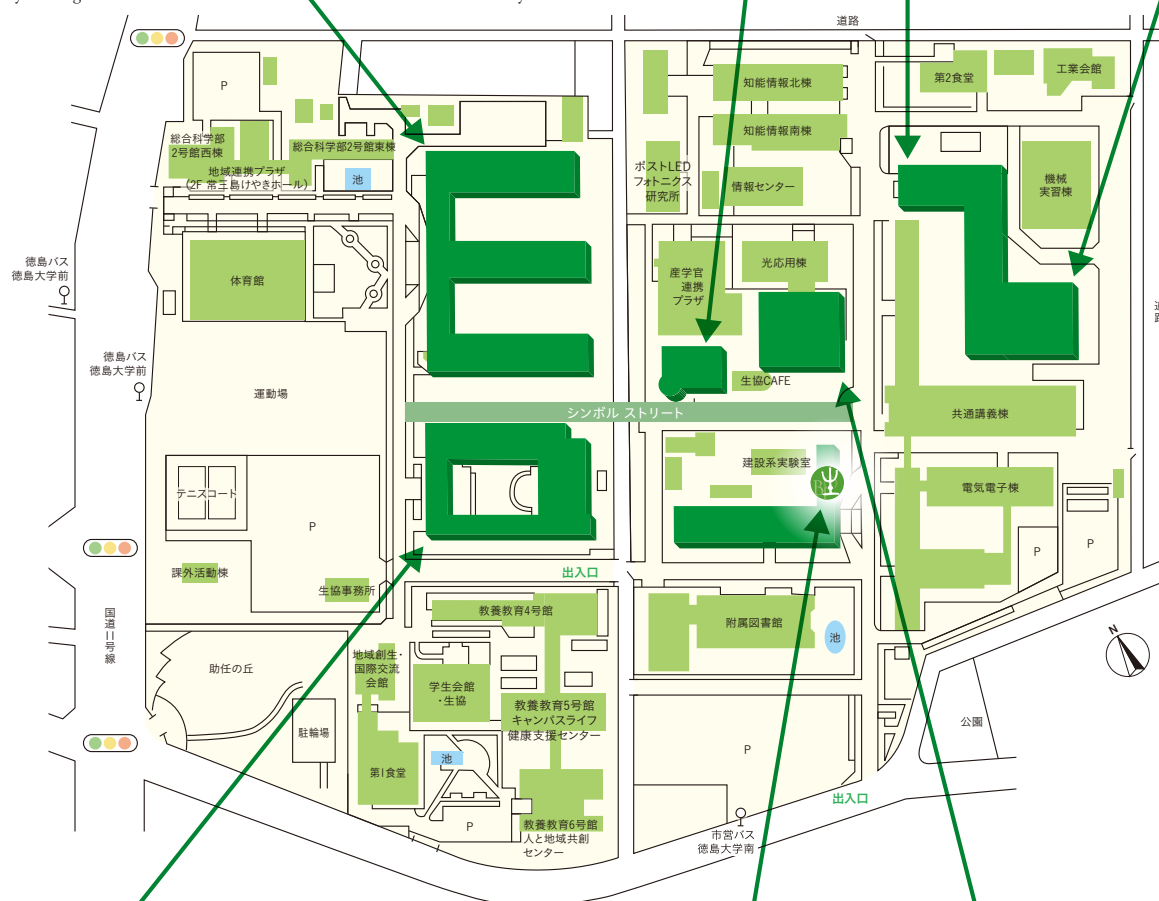


化学・生物棟

Building for Department of Chemical Science
and Technology and Biological Science and
Technology

機械棟

Building for Department of
Mechanical Engineering



総合科学部3号館

Building No.3,
Faculty of Integrated Arts and Sciences



事務課(建設棟2階)

Administrative Affairs Division
(Building for Department of Civil and
Environmental Engineering)



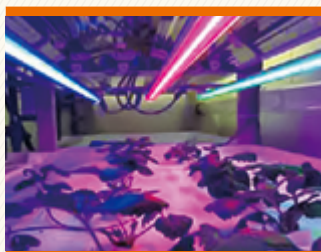
総合研究実験棟

Research and Experimentation Laboratories

生物資源産業学部農場

University Farm, Faculty of Bioscience and Bioindustry

名西郡石井町石井字石井 2272 番地の 2
2272-2 Aza Ishii Ishii Ishii-cho, Myozaigun



教育研究棟 4

生物資源産業学部農場は、約 10 万 m² という広大な敷地を有しており、そこには圃場や果樹園の他に、気温等が管理された屋内の閉鎖空間で作物栽培を行う植物工場や昆虫資源の開発、ブタの品種改良等を行う研究室があり、先進的な研究に取り組んでいます。

また、ブタは解剖学的にヒトに近い部分が多く、外科手術のトレーニング等においても広く利用されており、本学部の農場には、このような手術トレーニング等を行う施設も有しています。

学生の皆さんは、生物生産システム実習等の実習科目で利用する他、ここで卒業研究を行うこともできます。



教育研究棟 1



創薬・医療機器開発施設

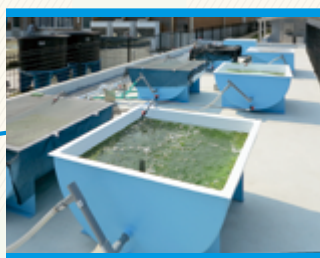
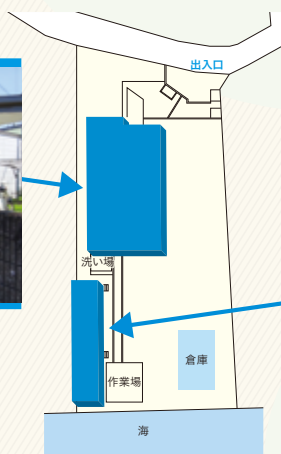
生物資源産業学部水圏教育研究センター

Education and Research Center for Aquascience, Faculty of Bioscience and Bioindustry

鳴門市瀬戸町堂浦地廻り 96 番地の 14
96-14 Dourajimawari-cho, Seto-cho, Naruto



水圏教育研究センター



水槽置場

生物資源産業学部水圏教育研究センターでは、主に海藻の養殖や、海藻を用いたアワビ等の養殖技術についての研究を行っており、屋内で様々な環境を再現し、最適な育成環境を探る基礎研究から、屋外水槽における大量養殖技術の検証等の応用研究までを一貫して実施しています。

学生の皆さんは、生物生産システム実習等の実習科目で利用する他、ここで卒業研究を行うこともできます。

とくしまイノベーションセンター

Tokushima Innovation Center

阿南市新野町室ノ久保 12 徳島県立阿南光高校新野キャンパス
12 Muronokubo Aratano-cho, Anan



とくしまイノベーションセンター



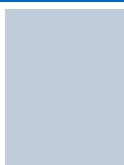
「徳島県、国立大学法人徳島大学及び徳島県教育委員会の連携による 6 次産業化教育の展開及び研究開発の推進に関する協定書」に基づき、阿南光高校新野キャンパスに「とくしまイノベーションセンター」が設置されました。

センター 2 階に、本学の教員が常駐し、高大接続による教育活動や産業界との連携による研究活動の拠点となることが期待されます。

応用生命コース

Bioengineering Course

教授
Professors



浅田 元子 ASADA Chikako
[専 門] 生物機能・バイオマス変換工学
[研究テーマ] 未利用バイオマスの総合的有用資源化
[研 究 室] 機械棟 7 階



宇都 義浩 UTO Yoshihiro
[専 門] 創薬化学
[研究テーマ] 発育鶏卵を用いた制癌剤の創薬研究と機能性食品／化粧品の研究開発
[研 究 室] 機械棟 8 階



田端 厚之 TABATA Atsushi
[専 門] 微生物学
[研究テーマ] 細菌病原因子の作用機構と宿主応答システムの解明に関する研究
[研 究 室] 化学・生物棟 7 階



松木 均 MATSUKI Hitoshi
[専 門] 生体膜工学
[研究テーマ] 両親媒性分子集合系の構造と機能に関する生物物理化学的研究
[研 究 室] 化学・生物棟 6 階



山本 圭 YAMAMOTO Kei
[専 門] 病態医化学
[研究テーマ] 健康と病態に関わる脂質ネットワークの研究
[研 究 室] 化学・生物棟 8 階

准教授
Associate Professors



鬼塚 正義 ONITSUKA Masayoshi
[専 門] 動物細胞工学、蛋白質科学
[研究テーマ] バイオ医薬品生産プラットフォーム開発
[研 究 室] 機械棟 8 階



岸本 幸治 KISHIMOTO Koji
[専 門] がん・幹細胞生物学
[研究テーマ] 「がん幹細胞の治療耐性克服を目的とした分子機構の解明」「幹細胞の代謝特性を活用する再生医療技術の開発」
[研 究 室] 機械棟 8 階



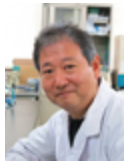
後藤 優樹 GOTO Masaki
[専 門] 生物物理化学
[研究テーマ] 高圧力下における脂質ナノ粒子の相転移に関する研究
[研 究 室] 化学・生物棟 6 階



白井 昭博 SHIRAI Akihiro
[専 門] 微生物学
[研究テーマ] 光反応を利用した病原性微生物制御法の構築
[研 究 室] 機械棟 8 階



玉井 伸岳 TAMAI Nobutake
[専 門] 生物物理化学
[研究テーマ] 脂質膜の構造特性に関する物理化学的研究
[研 究 室] 化学・生物棟 6 階



友安 俊文 TOMOYASU Toshifumi
[専 門] 微生物学
[研究テーマ] 微生物の病原性発現機構の解析
[研 究 室] 化学・生物棟 7 階

助教
Assistant Professors



篠原 侑成 SHINOHARA Yusei
[専 門] 有機合成化学、薬物送達学
[研究テーマ] 経皮吸収技術を用いた低侵襲的な薬物の開発・研究
[研 究 室] 機械棟 8 階

食料科学コース

Food Science Course

教授
Professors



榎元 廣文 ENOMOTO Hirofumi
[専 門] 食品科学、質量分析
[研究テーマ] 食品成分の時空間的な解析による食品の品質理解
[研 究 室] 総合科学部 3 号館 3 階



櫻谷 英治 SAKURADANI Eiji
[専 門] 応用微生物学
[研究テーマ] 機能性のある油をつくる微生物を利用した発酵研究
[研 究 室] 化学・生物棟 8 階



田井 章博 TAI Akihiro
[専 門] 生物有機化学
[研究テーマ] 食品、化粧品、医薬品における高機能性成分の開発研究
[研 究 室] 化学・生物棟 7 階



田中 保 TANAKA Tamotsu
[専 門] 脂質生化学
[研究テーマ] 脂質からの創薬・創食研究
[研 究 室] 総合科学部 3 号館 3 階

准教授
Associate Professors



赤松 徹也 AKAMATSU Tetsuya
[専 門] 生理学・口腔生理学
[研究テーマ] 唾液腺の発生・分化・再生および機能発現・調節の分子機構解明に関する研究
[研 究 室] 総合科学部 1 号館 1 階



川上 竜巳 KAWAKAMI Ryushi
[専 門] 応用生物化学
[研究テーマ] 極限環境微生物が作り出すユニークな酵素の機能構造・応用
[研 究 室] 総合科学部 3 号館 3 階



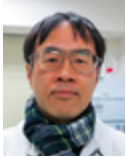
佐々木 千鶴 SASAKI Chizuru
[専 門] 天然物資源利用学
[研究テーマ] 植物性未利用資源および廃棄物の有効利用法の開発
[研 究 室] 総合科学部 1 号館 1 階



向井 理恵 MUKAI Rie
[専 門] 食品科学・食品機能学
[研究テーマ] 健康を増進する食品や栄養の機能解明
[研 究 室] 化学・生物棟 8 階

講師 Lecturers		粟飯原 睦美 AIHARA Mutsumi [専 門] 生活科学 [研究テーマ] 食中毒原因菌に有用な殺菌方法について [研 究 室] 総合科学部3号館3階
		阪本 鷹行 SAKAMOTO Takaiku [専 門] 分子生物学 [研究テーマ] バイオマス資源を利用した機能性物質の微生物発酵生産 [研 究 室] 化学・生物棟8階
		林 順司 HAYASHI Junji [専 門] 酵素工学 [研究テーマ] 有用酵素の探索と研究そして産業への活用 [研 究 室] 総合科学部1号館1階
助教 Assistant Professors		古賀 武尊 KOGA Takeru [専 門] 生物活性天然物化学 [研究テーマ] 食品に含まれる生物活性物質に関する研究 [研 究 室] 科学・生物棟7階

生物生産システムコース Agroscience Course

教授 Professors		刑部 敬史 OSAKABE Keishi [専 門] 遺伝子工学 [研究テーマ] 新規ゲノム改変技術の開発とスマートセル育種への応用に関する研究 [研 究 室] 総合研究実験棟2階／藤井節郎記念医科学センター3階
		音井 威重 OTOI Takeshige [専 門] 動物生殖工学 [研究テーマ] 野生動物と家畜における生殖工学技術の展開 [研 究 室] 教育研究棟1 2階
		中澤 慶久 NAKAZAWA Yoshihisa [専 門] 環境農学関連、バイオエコノミー [研究テーマ] バイオエコノミーに関する研究と社会実装 [研 究 室] ベンチャービジネス育成研究棟4階
		服部 武文 HATTORI Takefumi [専 門] 森林微生物代謝化学 [研究テーマ] 森林微生物の代謝機構の解明と森林資源の六次産業化への応用 [研 究 室] とくしまイノベーションセンター2階
		三戸 太郎 MITO Taro [専 門] 発生生物学 [研究テーマ] 昆虫のゲノム機能解明と食料資源化 [研 究 室] 教育研究棟4 1階
		森松 文毅 MORIMATSU Fumiki [専 門] 畜産科学 [研究テーマ] 動物生産システムおよび畜産物利用に関する研究・開発 [研 究 室] 教育研究棟2 2階

准教授 Associate Professors		岡 直宏 OKA Naohiro [専 門] 海洋植物学 [研究テーマ] 有用海藻の増養殖、機能性成分の探索 [研 究 室] ベンチャービジネス育成研究棟4階／水圏教育研究センター
		佐藤 征弥 SATOH Masaya [専 門] 植物生理学 [研究テーマ] 植物の病害の診断・治療。公園の造園設計。イチヨウの伝来・伝播ルートの解明。 [研 究 室] 総合科学部3号館3階
		平田 真樹 HIRATA Maki [専 門] 動物生産科学 [研究テーマ] 飼料・環境要因と家畜の生産性に関する研究 [研 究 室] 教育研究棟1 2階
		宮脇 克行 MIYAWAKI Katsuyuki [専 門] 遺伝子工学 [研究テーマ] 動物・植物の効率的な生産方法の開発 [研 究 室] 教育研究棟4 2階
		山城 考 YAMASHIRO Tadashi [専 門] 植物系統分類学 [研究テーマ] 植物の分類と系統に関する研究および希少植物の保全に関する研究 [研 究 室] 総合科学部1号館1階
		山田 晃嗣 YAMADA Koji [専 門] 植物生理・病理学 [研究テーマ] 植物・病原体間相互作用に関する研究 [研 究 室] 総合研究実験棟2階
		山村 正臣 YAMAMURA Masaomi [専 門] 森林植物代謝化学 [研究テーマ] 針葉樹心材形成機構の解明と有用成分利用に関する研究 [研 究 室] とくしまイノベーションセンター2階
		石丸 善康 ISHIMARU Yoshiyasu [専 門] 発生生物学 [研究テーマ] 発生・再生の分子メカニズムの解明 [研 究 室] ベンチャービジネス育成研究棟4階
		橋本 直史 HASHIMOTO Naoshi [専 門] 農業経済学 [研究テーマ] 農産物の商品化と流通に関する研究 [研 究 室] 総合科学部1号館3階
		松田 春菜 MATSUDA Haruna [専 門] 生物学 [研究テーマ] 貝類の分類・増養殖に関する研究 [研 究 室] ベンチャービジネス育成研究棟4階／水圏教育研究センター
講師 Lecturers		渡邊 崇人 WATANABE Takahito [専 門] 遺伝子工学 [研究テーマ] 有用動物の遺伝子工学的な育種と大量生産システムの開発 [研 究 室] 教育研究棟4 2階
		長原 恵 NAGAHARA Megumi [専 門] 動物繁殖学 [研究テーマ] 希少動物の精液凍結保存技術の開発 [研 究 室] 教育研究棟1 2階
		

アドミッション・ポリシー Admission Policy

本学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドを持った人材の育成を目的としています。

● 求める人物像

関心・意欲・態度	バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を定めることができる人
探究力	興味や関心を持った科学的事象を深く掘り下げることができる人
表現力	自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人
知識・教養	本学部の専門分野を学ぶために、 高等学校等で修得すべき※ 理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人
思考力・判断力	幅広い知識と教養、多くの経験をもとに深く思考し、適切に判断できる人
協働性	問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容



理科

化学および基礎的な物理、生物の知識



数学

理系数学についての基本的な知識・技能と論理的思考法



英語

国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力



国語

様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力



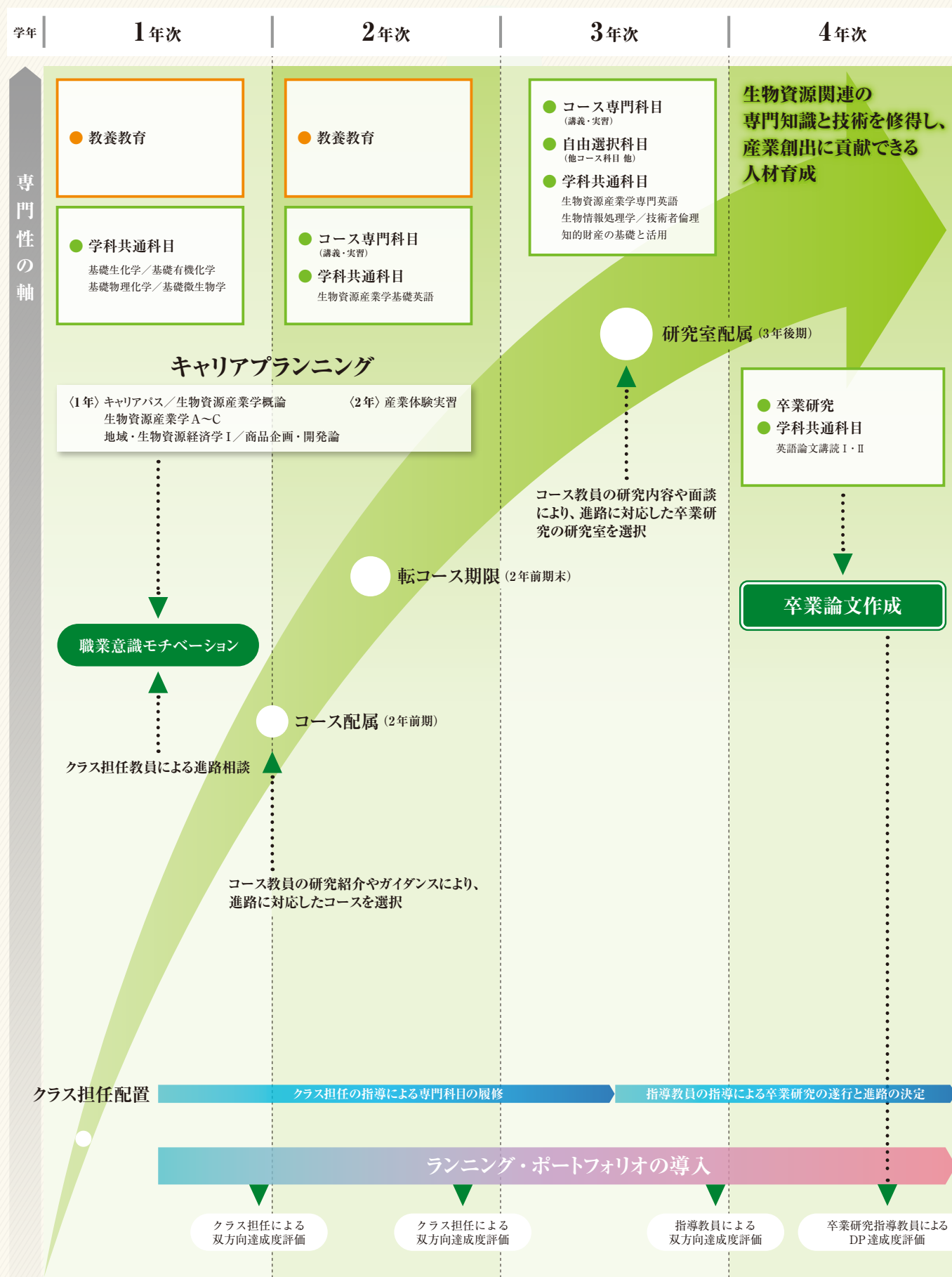
地歴・公民

地歴・公民における基礎的内容の理解



カリキュラムの特長 Curriculum

教養教育科目と生物資源に関する基礎知識を学科共通科目によって学んだ上で、2年次からコースに配属し、微生物から動植物に至る広範囲な生物学や生命化学、最先端のバイオテクノロジーや、これらを応用した食品の保存や加工技術・医薬品の開発・生物資源の生産育種技術などの専門科目を学びます。



学部紹介

アドミッションポリシー

カリキュラムの特長

学部各コース紹介 Course

応用生命コース

Bioengineering Course

応用生命コースでは、生物学、化学、工学を融合し、最新バイオ技術を駆使して健康、資源、環境等の諸問題を解決するための専門知識や技術を修得することができます。創薬、細胞機能の解明と応用、バイオマス有効利用等により、諸問題を解決できる能力や、開発したバイオテクノロジーを産業へ応用し、バイオベンチャー関連の企業でも活躍できる能力を養成します。

特長

生命分子や細胞の基礎研究からゲノム工学、細胞工学、微生物工学等の応用研究までの学問分野に関する教育を行い、生物資源からの医薬品開発や候補物質のスクリーニング、培養細胞によるタンパク質医薬品の大量生産等の医薬工連携分野及びバイオエネルギー生産等の研究を重点的に進めています。

主な開講科目

- 生化学
- 生体高分子学
- 微生物学
- 生物物理化学
- 生物有機化学
- バイオ医薬品生産工学
- 細胞情報学
- バイオリアクター工学
- 創薬学
- 免疫工学
- 微生物検査科学
- バイオマス利用学
- 再生医学
- 医用工学
- 分子集合体化学
- 物理化学実習



食料科学コース

Food Science Course

食料科学コースでは、最新バイオ技術を駆使して食料、健康、資源、環境の諸問題を解決するための専門知識、技術を修得することができます。微生物機能の利用、機能食品の開発、フードビジネスに関する教育を進め、農学、工学、医学、栄養学及び薬学的見地から新しい安全な食品開発と産業化に貢献する能力を養成します。

特長

安全な食料の効率的生産による安定供給と機能食品開発に貢献できる能力の育成を目的として、農学、工学、医学、栄養学、薬学的アプローチによる食品の加工・保蔵、機能、安全、栄養、未利用生物資源開発に関する教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行います。

主な開講科目

- 天然物資源化学
- 生物活性物質化学
- 機能食品学
- 食品学Ⅰ・Ⅱ
- 代謝生化学
- 分子病態学
- 栄養・口腔生理学
- 基礎生理学
- 食品衛生学Ⅰ・Ⅱ
- 食品工学
- 酵素化学
- 遺伝子工学
- 応用微生物学Ⅰ・Ⅱ
- フードサイエンス
- 食料科学基礎実習
- 食料科学実習A～C



生物生産システムコース

Agroscience Course

生物生産システムコースでは、先端作物生産、家畜繁殖、育種工学、植物工場、資源増殖の教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行い、安全な生物資源の安定供給に関わる諸問題について多面的観点から解決法を探究し、生産性の高い持続的1次産業を構築するための知識・技術力を修得します。また、生産生態系の保全を通して、農山漁村の多面的機能についても学び、1次産業の後継者教育や農山漁村イノベーションに関わる人材を養成します。

特長

スマート農業に代表される先端技術を利用した生物生産システム、ゲノム編集による品種改良、生産生態系における資源管理手法や増殖技術、高付加価値を有する動植物、水産資源の開発と種苗生産、農産物の流通に基づく市場ニーズの動向を的確に捉えた農山漁村イノベーションの企画力について教育します。

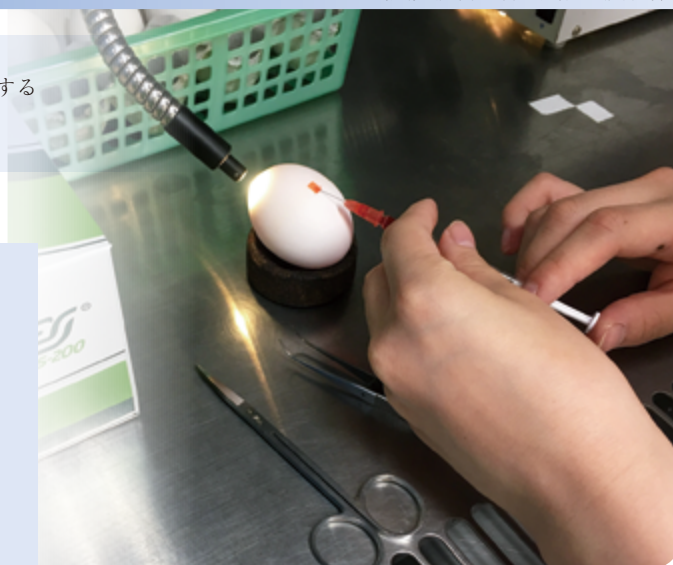
主な開講科目

- 植物生理学
- 生物資源環境学
- 農業科学総論Ⅰ・Ⅱ
- 森林科学
- 動物生産科学
- 水圏生産科学
- 植物生産科学
- 森林代謝学
- 応用昆虫学
- 水産資源学
- 植物細胞工学
- 生物多様性学
- 畜産加工学
- フードシステム論
- アグリビジネス起業論
- 生物生産システム実習A～C



教育のPoint!

学科専任教員と製薬、食品製造、醸造に関連する企業からの学外講師による実学もあります。



進路と未来予想図

生物工学的アプローチによる生物資源（微生物・培養細胞など）のヘルスサイエンスへの応用、製品化によってバイオ産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。

進路

製薬系企業、化学系企業、発酵醸造業自営、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、医用工学系企業、バイオベンチャー企業、公務員、商社など

教育のPoint!

食料科学の知識と技術について、農芸化学、食品・栄養化学、生物工学、菌学・薬学などを専門分野とする専任教員で教育研究を行い、実学は地元企業の協力を得て進めています。



進路と未来予想図

栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見と機能食品開発によって食品産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。

進路

食品関連企業（生産・研究・商品開発）、製薬系企業、化学系企業（化粧品企業含む）、食品流通業、サービス業、農林水産業団体職員、公務員、商社、バイオベンチャー企業、フードビジネス自営など

教育のPoint!

生物生産システムコース専任教員とバイオイノベーション研究所専任教員が、常三島、石井、鳴門、新野の4カ所に研究室を設けており、生物生産に関する様々な学びを提供しています。



進路と未来予想図

農業分野、畜産分野、水産分野、林産分野、バイオ産業などの生物生産に関わる産業や公的職務を進路先として、地域社会・経済の活性化に貢献できる人材を養成します。

進路

公務員（農業・林業・畜産の専門職）、地方自治体職員（農業職）、食品加工産業（生産・企画・商品開発）、食品流通産業、農林水産分野の団体職員（JAなど）、製薬企業、化粧品企業、衛生産業分野企業（商品企画、研究開発）、農林業自営者など

大学院創成科学研究科の概要

再編前

総合科学教育部

博士前期課程
・地域科学専攻
・臨床心理学専攻

博士後期課程
・地域科学専攻

先端技術科学教育部

博士前期課程
・知的力学システム工学専攻
・物質生命システム工学専攻
・システム創生工学専攻

博士後期課程
・知的力学システム工学専攻
・物質生命システム工学専攻
・システム創生工学専攻

縦割り型
の専門教育
体制

柔軟な
教育体制

再編後

創成科学研究科

2020年度設置

博士前期課程 4 専攻 (学位)

- ・地域創成専攻 (学術)
- ・理工学専攻 (工学)、(理学)
- ・臨床心理学専攻 (臨床心理学)
- ・生物資源学専攻 (生物資源学)

2022年度設置

博士後期課程 1 専攻

- ・創成科学専攻 (学位プログラム) (学位)
- 社会基盤システムプログラム (工学)、(学術)
- 化学生命工学系プログラム (工学)
- 機械科学系プログラム (工学)
- 電気電子物理科学系プログラム (工学)
- 知能情報・数理科学系プログラム (工学)
- 生物資源学系プログラム (農学)
- 光科学系プログラム (工学)

創成科学研究科の特色

- ◆ 柔軟な教育体制の導入
- ◆ 産業界や社会のニーズを踏まえた教育
- ◆ グローバルな視点を学修
- ◆ 科学・技術イノベーションを学修
- ◆ 個々の専門性を共有できる能力の涵養
- ◆ 総合的・俯瞰的視点で課題解決

大学院創成科学研究科 生物資源学専攻

養成する人材像

中長期的な産業界や社会のニーズを踏まえ、農林水産業を地方創生の原動力として、我が国の持続的発展、国際競争力の向上、人類社会への貢献に資する高度専門職業人を養成します。

アドミッション・ポリシー Admission Policy

本専攻では、生物工学的アプローチによる生物資源のヘルスサイエンスへの応用・製品化によって新規バイオ産業の創成に貢献できる人材、栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見や新しい食品加工技術によって新規食品産業の創成に貢献できる人材、及び農工連携による生物資源の生産管理システム、革新的な育種・品種改良、及び資源の高機能化により1次産業の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

求める人物像

知識・技能、関心・意欲

生物の機能に強い関心を持ち、生物資源の生産、医薬・食品・エネルギーへの応用等の分野で深い知識と技術を修得し、高度専門職業人として、地域や国際社会において活躍することを目指す意欲的な人

思考力・判断力・表現力等の能力

生物資源に関する諸課題を理解し、深い専門知識により高度な解決策を提案できる思考力、判断力、表現力、及びコミュニケーション能力を有する人

主体性を持って多様な人と協働して学ぶ態度

地域生物資源の6次産業化や1次産業の持続可能な成長産業化について、多様な領域の人々と協働しながら、主体的に取り組むことに意欲的な人

カリキュラムの特長 Curriculum

本専攻では、生物資源産業学部の専門分野教育を継続・深化させるとともに、教育クラスター等の分野横断型教育により、「生物資源学」の枠を超えた高度な教育を行い、他分野の知識や技術を広く学修します。

1. 社会・地域のニーズを踏まえた教育課程

生物資源産業に対する社会・地域のニーズを踏まえ、「地域創生」や「イノベーション」の観点から、地方創生の原動力となる1次産業や食品産業の成長産業化並びに新しいバイオ産業の創出等に貢献できる人材を育成するため、生物資源学に関する高度な知識と技術を習得できる教育課程とする。

2. 企業・自治体と連携した教育課程

製薬、食品及び化学工業等の企業人、並びに徳島県の研究開発に関する事業部等の職員が担当する特別講義（応用生命科学特別講義、食料生物科学特別講義及び生物生産科学特別講義）や、企業及び自治体職員が担当する特別実習（応用生命科学特別実習、食料生物科学特別実習及び生物生産科学特別実習）を開講し、最新の生物資源に関する現状と課題等について講義と実習で学ぶことにより、高度な知識の修得に加えて課題を発見し解決するための実践力や応用力を養成する。

3. 分野横断型教育課程

生物資源の高度利用や1次産業の成長産業化並びに6次産業化等に貢献できる人材育成のため、農学、工学、医学、薬学、及び経済・経営学領域に渡る分野融合型教育課程であることを特色とし、更には、所属コースの専門教育に加えて、産業界・社会のニーズ（重要課題）に対応した研究に基づく分野横断型教育プログラムとなる教育クラスターを導入し、自らの専門分野における俯瞰的な視点や複眼的視点を養い、自身の研究力を更に高めることができる教育課程とする。



大学院各コース紹介 Course

応用生命科学コース

Department of Applied Life Science



応用生命科学コースでは、高度な専門知識を活かして、生物工学的アプローチによる生物資源のヘルスサイエンス、バイオエネルギー、バイオケミカルへの応用、製品化によってバイオ産業の育成と経済の発展に貢献できる能力、及び高安定性・高機能性を持つ化合物製造開発のために、AIや生物物理、化学工学等の他分野の手法を活用する方法を学び応用することでバイオ技術発展に貢献できる高度な専門知識と技術を身につけた人材の養成を目指します。

教育について

修得した生物資源の高度利用に関するバイオサイエンスの知識と技術について、演習や実習並びに複数教員や他の学生とのグループ討議により議論を深めることにより、協働力やリーダーシップに関する能力を修得するとともに、自らの研究成果とその応用についてゼミナールや学会での発表、並びに、その応用の展開により、コミュニケーション力や実践力を培う教育を行います。

中心的な学問分野

生命科学分野
医化学分野
生物化学工学分野



修了後の進路

発酵醸造業、製薬系企業、化学系企業、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、化粧品産業、医用工学系企業、ベンチャー起業、公務員、商社など



食料生物科学コース

Department of Food Bioscience



食料生物科学コースでは、高度な専門知識を活かして、栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見と機能食品開発によって食品産業の育成と経済の発展に貢献できる能力、グローバルGAPやHACCPに適合した食品製造システムの構築にAI等の異分野の手法を活用する能力、及び食品のビッグデータ構築にICTを活用できる高度な専門知識と技術を身につけた人材の養成を目指します。

教育について

安定した食料供給、安全で効率的な食品加工、食品機能の解明とその応用など、将来の食品産業を担う人材養成を目指し、教育・研究を行います。学生が研究成果を発展させるための発想力や社会実装するための応用力を修得するとともに、自らの研究成果を国内外の学会で発表することで、発信能力や他の研究者とのコミュニケーション能力を高める教育を行います。さらに、教員や他の研究室構成員と共同で研究を行うことで、協働性を修得し、リーダーとなるための素養を培う教育も行います。

中心的な学問分野

食品化学分野
食品加工保蔵学分野
栄養生理学分野



修了後の進路

食品関連企業（生産・研究・商品開発）、製薬系企業、化学系企業（化粧品企業含む）、食品流通業、サービス業、農林水産業団体職員、公務員、商社、バイオベンチャー企業など



生物生産科学コース

Department of Agrobioscience



生物生産科学コースでは、高度な専門知識を活かして、スマート農業を活用した生物資源の生産管理システム、ゲノム編集などの新技術による育種・品種改良、資源の高機能化によって1次産業を発展させ地域社会・経済の活性化に貢献できる能力の強化、及び地域創生のため農林畜水産物の6次産業化など農山漁村イノベーションに関する高度な専門知識と技術を身につけた人材の養成を目指します。

教育について

フィールドでアクティブに行動できる能力を強化するとともに、実習や演習並びに研究を進める過程において、指導教員や他の学生との議論により、これまで修得した生物生産科学に関する知識と技術について、理解を深めながら協働力やリーダーシップに関する能力を修得します。

自らの研究成果とその成果に基づく6次産業化への応用面やスマート農業への展開等について、研究室や学会での発表並びに企業等との実用化への共同研究等を行いながらコミュニケーション力や実践力を培うなど、基礎的な知識や技術の修得に加えて、それに基づく課題対応力といった実践力を強化する教育を行います。

中心的な学問分野

細胞工学分野
植物科学分野
生物生産科学分野



修了後の進路

農業、林業、畜産業、水産業及びそれらの関連法人、種苗企業、農協、生協、食品製造業、製薬系企業、化粧品産業、農林水産技術者、畜産技術者、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、6次産業関連企業、ベンチャー起業、公務員など



在学生からのメッセージ Message from Current Students

学部



生物資源産業学部生物資源産業学科
応用生命コース

4年

下田 嶺斗 さん

応用生命コースでは、有機化学・微生物学などの専門科目やバイオマス・細胞工学などの実習を通して、バイオサイエンスに関連する幅広い研究分野を学ぶことができます。その過程で、実験や研究開発に興味を持ち、専門的な知識や経験を習得できるコースだと思います。将来は、3年次の実習で興味を持った界面活性剤の膜物性の研究を行ってみたいです。



生物資源産業学部生物資源産業学科
食料科学コース

4年

宅見 奈央 さん

私は食べることが大好きで、幼い頃から「食」に関わる研究に興味がありました。食料科学コースでは、様々な授業を通して専門的な知識を学んだり、実習によって今まで学んだ知識を応用することで更に理解を深めることが出来ます。私の所属する研究室では、食品成分であるアミノ酸の分析や生産に関する酵素の研究を行っており、今後は大学院に進学して研究を続けていきたいと考えています。



生物資源産業学部生物資源産業学科
生物生産システムコース

4年

中原 永里加 さん

生物生産システムコースでは、2年次から農林水産・畜産・酪農業について広く学ぶことができます！他のコースと異なり、徳島県内の様々な地域でフィールドワークを行うので五感で物事を感じ、それを研究や学習に役立ててすることができます。このコースで学ぶことで、農業の知識や周りの物事を感じ取り疑う力を身に付けることができますよ。

大学院



大学院創成科学研究科
生物資源学専攻
応用生命科学コース

博士前期課程1年

西村 優里 さん

応用生命科学コースでは生物学だけでなく化学分野における専門知識を習得できます。また、研究活動を通して自らが計画・実験・考察を行うことで主体性や論理的思考能力が身につきます。私は非天然脂質である、脱リン酸化脂質の有機合成と物性測定の研究を行っています。将来は多角的な視点で化学系の研究開発職で活躍したいです。



大学院創成科学研究科
生物資源学専攻
食料生物科学コース

博士前期課程1年

高見 涼真 さん

食料生物科学コースでは、有用成分の発見、機能性食品の開発など「食」に関する知識や技術を習得することができるコースです。私は大学院でアルツハイマー病の治療や予防に貢献する食品由来の化合物の探索を行っています。将来はこのコースでの経験を活かし、食の世界で新しい価値を創造し、人々の心と体を満たすような仕事に携わりたいと考えています。



大学院創成科学研究科
生物資源学専攻
生物生産科学コース

博士前期課程1年

喜瀬 あおい さん

生物生産科学コースでは、畜産学、水資源学、昆虫学、植物学などの広範なフィールドから自分が興味を持った分野を研究することができます。私は大学院で豚の生産から食肉の加工まで一貫して研究しています。将来は食品業界での研究開発職を志望しており、大学で培った幅広い知識と実技技能を発揮していきたいと考えています。

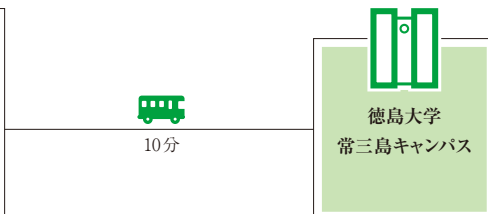
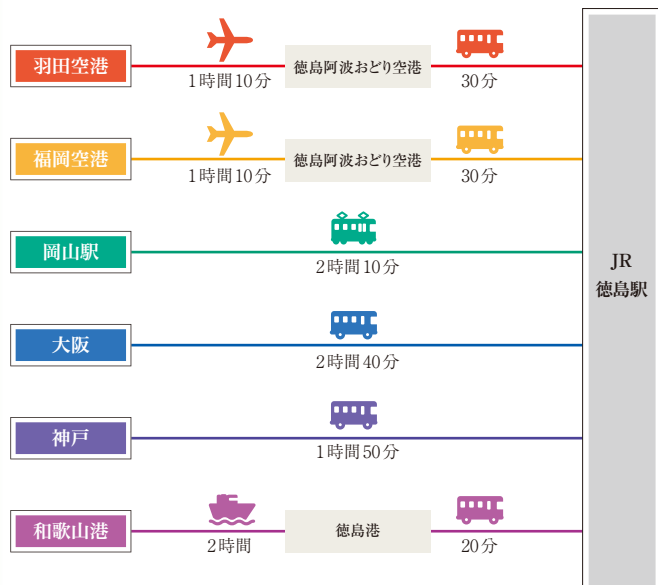
徳島大学生物資源産業学部

〒770-8513 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

生物資源産業学部事務課

常三島地区建設棟2階

Tel 088-656-8019 [総務係] / Tel 088-656-8021 [学務係] / Fax 088-656-8029



徳島駅から徳島大学常三島キャンパスまで

【5番のりば】

路線番号5 商業高校行(南常三島)「徳島大学前」下車
 路線番号6 島田石橋行「助任橋」下車
 路線番号31 中央循環左回り「助任橋」下車

【6番のりば】

路線番号3 中央市場行「助任橋」下車
 路線番号32 東部循環右回り「助任橋」下車

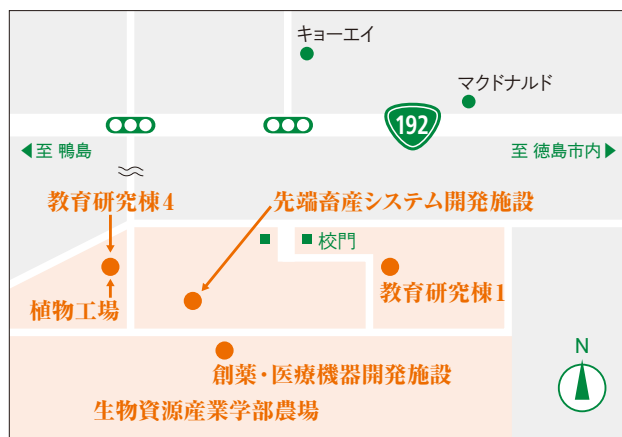
【7番のりば】

川内循環左回り「助任橋」下車

生物資源産業学部農場

〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井2272番地の2

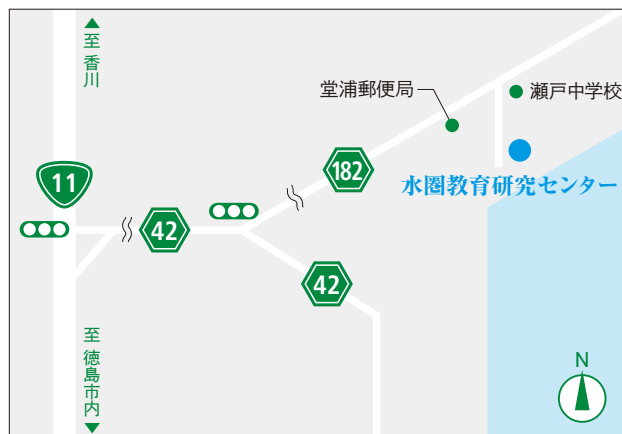
Tel 088-635-0796

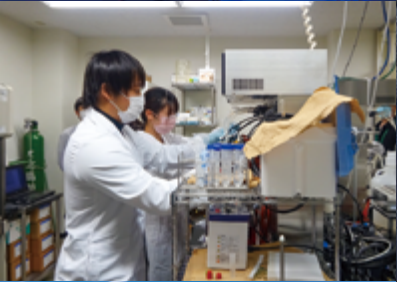
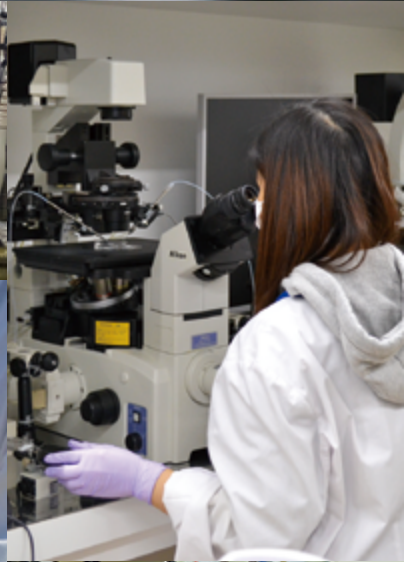
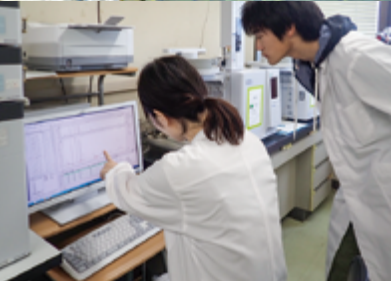
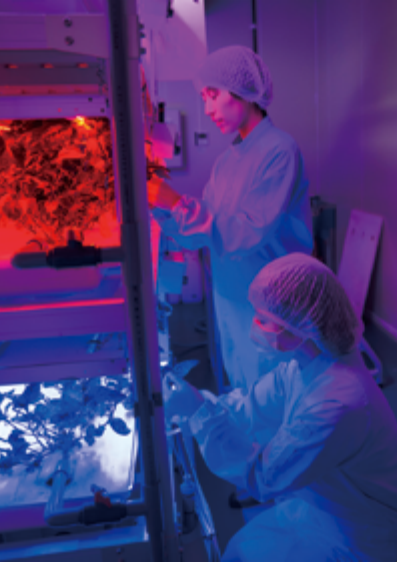


生物資源産業学部水圏教育研究センター

〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り14番地の14

Tel 088-683-7027







発行 徳島大学生物資源産業学部
発行月 令和6年7月

